



# 経営効率化への取り組み状況

平成26年4月  
中国電力株式会社

## I. 平成25年度の実績

### 1. 平成25年度の効率化実績

- 平成25年度は、競争拡大などによる請負・資機材等の調達コスト低減やLNGの利用拡大による燃料費の削減などの取り組みに加え、工事・施策の中止・繰延・規模縮小を実施し、効率化額は、設備投資・費用合計で650億円となりました。

		H25年度 実績
設備投資の効率化		120億円
費用の効率化	修繕費	300億円
	諸経費	100億円
	燃料費	130億円
経営効率化額		650億円

#### 《効率化の主な事例》

##### ○設備投資

- ボイラ水壁管<sup>※1</sup>取替工事における取替範囲の縮小
- ガスタービン燃焼器の予備品購入範囲の縮小
- 発注先の拡大，競争の促進などによる請負・資機材調達の効率化

※1：ボイラとは、水を加熱して高温・高圧の蒸気を発生する装置。

ボイラ水壁管は、ボイラを形成している水管の一部。

##### ○修繕費

- ボイラ煙道修理工事における修理範囲の縮小
- 節炭器管<sup>※2</sup>修理工事における配管の肉厚量を踏まえた工事範囲の縮小
- 送電線の懸垂がいし細密点検工事における過去の点検実績を踏まえた点検周期の延伸
- 発注先の拡大，競争の促進などによる請負・資機材調達の効率化
- 工事の中止・繰延・規模縮小

※2：節炭器（せったんき）とは、石炭火力発電所において燃料の使用量を節約するため、燃焼ガスの熱を利用してボイラへ供給する水をあらかじめ熱する装置。

節炭器管とは、節炭器を形成している管の一部。

##### ○諸経費

- 委託内容の見直し等による委託費の低減
- 施策の中止・繰延・規模縮小

##### ○燃料費

- LNGの利用拡大による燃料費の低減

## 2. 平成25年度の収支実績

- 平成25年度は、経営全般にわたる効率化に努めましたが、島根原子力発電所1、2号機の運転停止等による原料費の増加などにより、188億円の当期純損失となりました。

### 【個別収支の実績（中国電力単体）】

（単位：億円，未満切捨て）

			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度
経常 収益	営業 収入	電灯料	3,815	4,007	4,024	4,061	4,197
		電力料	5,319	5,548	5,777	5,866	6,176
		小計	9,135	9,555	9,802	9,928	10,374
	料 金 収 入	地帯間・他社販売電力料ほか	591	732	1,355	1,391	1,437
		計	9,727	10,288	11,157	11,319	11,811
	その他	110	114	128	159	153	
合計	9,838	10,402	11,285	11,479	11,965		
経 常 費 用	人件費		1,124	1,067	1,114	1,145	1,081
	原料 費	燃料費	1,948	2,544	3,199	3,665	4,013
		地帯間・他社購入電力料	1,502	2,001	2,018	2,197	2,332
		計	3,450	4,545	5,218	5,862	6,346
	設備 関係 費	修繕費	1,039	901	1,000	1,073	925
		減価償却費	1,192	1,155	1,116	1,020	972
		支払利息	279	261	258	242	241
		計	2,511	2,317	2,375	2,337	2,139
	公租公課		593	610	606	581	579
	その他		1,705	1,713	1,767	1,933	2,000
合計		9,385	10,254	11,082	11,860	12,147	
経常利益(損失)			452	147	203	▲381	▲182
渴水準備金引当又は取崩し			-	-	20	▲20	3
原子力発電工事償却 準備金引当又は取崩し			92	121	78	15	37
特別利益			-	-	-	-	-
特別損失			-	68	-	-	-
法人税等			135	57	99	▲25	▲27
法人税等調整額			▲0	▲69	18	▲84	▲8
当期純利益(損失)			225	▲30	▲13	▲266	▲188

## Ⅱ. 平成26年度の見通し

### 1. 平成26年度の効率化計画

- ・当社はこれまでも、さまざまな観点から効率化に取り組んできましたが、平成26年度は請負・資機材等の調達コスト低減、LNGの利用拡大による燃料費低減等の従来からの取り組みの強化や、工事・施策の中止・繰延等により、平成25年度の水準を上回る670億円程度の経営効率化を計画しています。
- ・今後はこれらの計画を確実に実施するとともに、実施段階におけるさらなる上積みを目指して最大限の努力を行ってまいります。

	H26年度 計画
経営効率化額（設備投資，費用計）	670億円程度

### 2. 平成26年度の収支見通し

- ・次期の業績見通しにつきましては、電力需給に係る費用を合理的に予想することが困難であることから、営業利益、経常利益、当期純利益について、連結・個別とも未定としております。
- ・今後、業績予想が可能となった時点で、速やかにお知らせいたします。
- ・今後も、原子力発電所の更なる安全性向上や、発電・ネットワーク設備の信頼度維持・向上など将来にわたり安定供給を確保していくための設備基盤強化に引き続き取り組むこととしており、これらに伴うコストの増加が見込まれますが、一層の効率化に努め、できる限り現行料金水準を維持してまいりたいと考えております。

〒730-8701 広島市中区小町4番33号

中国電力株式会社

TEL 082-241-0211（代）

<http://www.energia.co.jp/>